



# Dive はじめて手順書作成マニュアル

エピソテック株式会社

2025年03月17日\_r0

# はじめに

- 本マニュアルは、**Diveを使ってはじめて手順書を作成する方**に向けて説明した操作方法を記しています。
- 説明アプリ画面が、旧バージョンの画面である事があります。その際は、現行のアプリ画面として読み替えてご使用ください。
- なお、30日間の無料トライアルがございます。本番環境と同様となりますので、こちらのご利用をご検討ください。

# 仕様

PCではWebアプリ、スマホではインストールするタイプのアプリでDiveを使用します。

項目	サポート	推奨	補足
Webアプリ (PC用アプリ)	Google Chrome	最新バージョン	Webアプリは下記。 <a href="https://dive-dashboard.vercel.app/">https://dive-dashboard.vercel.app/</a>
スマホ/タブレット用アプリ	Android/iOS デバイス (ARを利用する場合、 ARCore 対応 デバイス)	<ul style="list-style-type: none"><li>Android: Galaxy S10以上のスペック.</li><li>iOS :iPhone 8以上のスペック, iPadは第8世代以上のスペック</li></ul>	アプリはそれぞれ下記からダウンロード。 Android <a href="https://play.google.com/store/apps/details?id=com.Episotech.InteractiveSupporter">https://play.google.com/store/apps/details?id=com.Episotech.InteractiveSupporter</a> iOS <a href="https://apps.apple.com/jp/app/interactive-supporter/id1548827223">https://apps.apple.com/jp/app/interactive-supporter/id1548827223</a>

# 基本的な作成フロー

- 基本的にはPCのWebアプリで行います。AR手順書についてはスマホで行います。
- スマホアプリでは、発行や承認フローの実行はできません。作成が終わったら、PCアプリで実施ください。

## ■ 動画手順書



## ■ AR手順書



## 1. 動画手順書を作成する

- フォルダを作成
- 動画編集
- 詳細編集
- 発行・共有

## 2. AR手順書を作成する

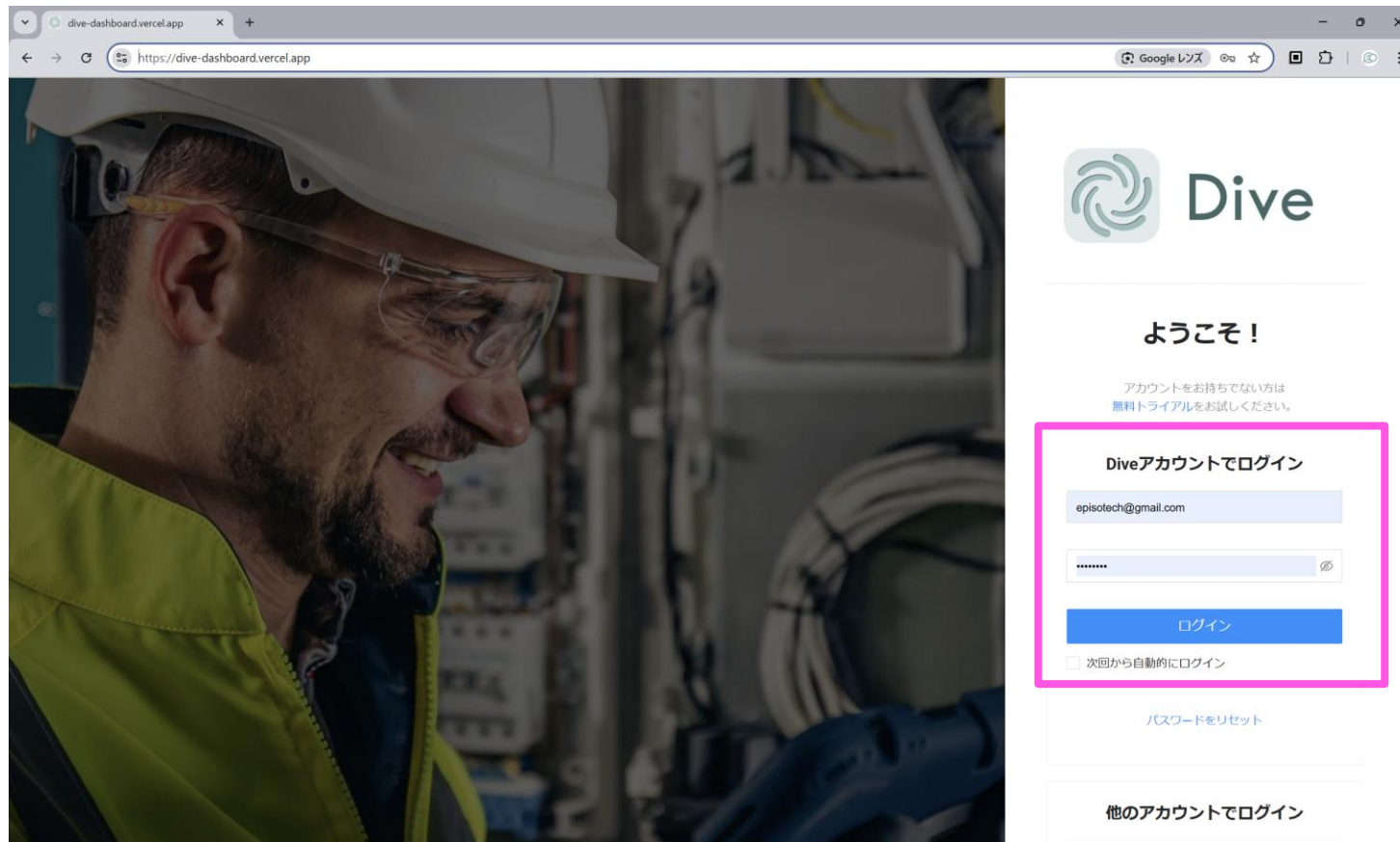
## 3. ユーザー権限・参照権限

## 4. アクセス制限・承認フローを設定する

## 5. グラス版アプリ

# Webアプリにログイン

<https://dive-dashboard.vercel.app/>



# フォルダを新規作成



- 手順書はフォルダ毎に格納して管理します。
- フォルダの作成、編集は「オーナー」または「管理者」権限をもつアカウントのみが作成できます。
- まずはこの権限を持つ人があらかじめ必要なフォルダを作成しておきましょう。

## 1. 動画手順書を作成する

- フォルダを作成
- 動画編集
- 詳細編集
- 発行・共有

## 2. AR手順書を作成する

## 3. ユーザー権限・参照権限

## 4. アクセス制限・承認フローを設定する

## 5. グラス版アプリ



# 動画をアップロード



- 「作成者」権限アカウント以上の方が利用できます。
- スマホアプリからもアップロードできます。

# アップロードする動画について

AIでの動画手順分割をフル活用するために

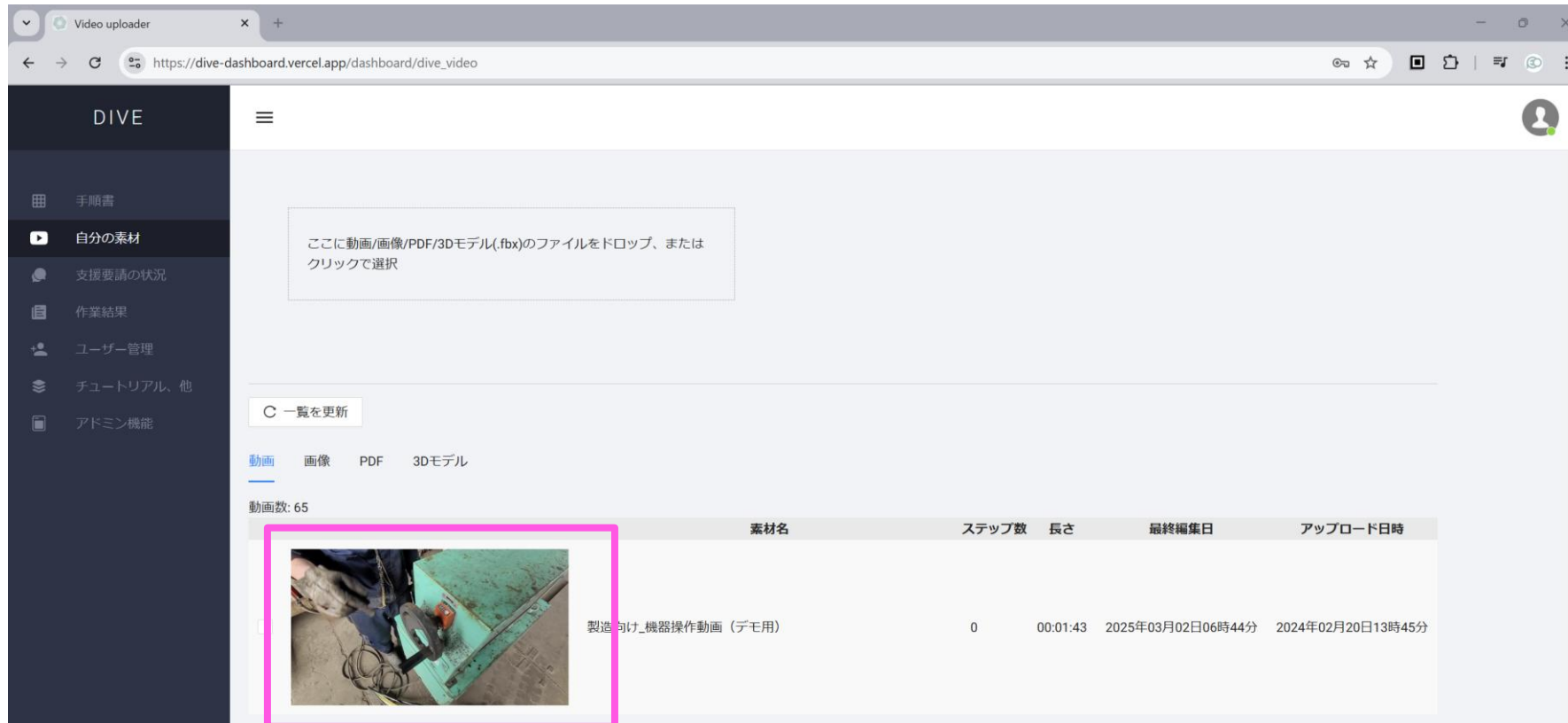
下記のように撮影した動画をご用意することを推奨します。

- 1) 解説を入れながら撮影する
- 2) 動きを認識させたい場合、人全体の80%以上が見える画角で撮影する（右図参照）



# 動画編集画面を開く

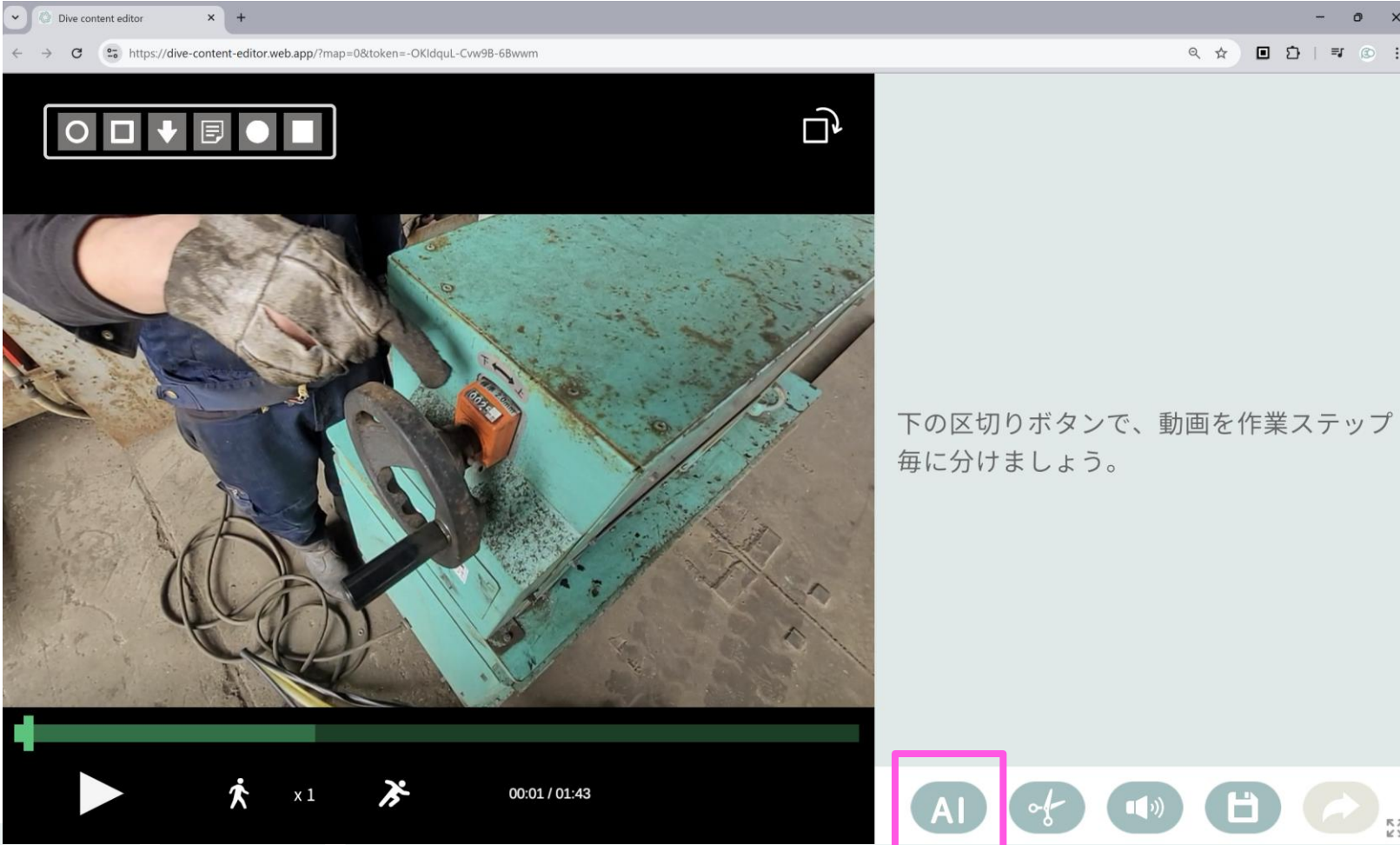
編集したい動画のサムネイル画像をクリックする



The screenshot shows a web browser window with the URL `https://dive-dashboard.vercel.app/dashboard/dive_video`. The page features a dark sidebar on the left with the 'DIVE' logo and a menu containing: 手順書, 自分の素材, 支援要請の状況, 作業結果, ユーザー管理, チュートリアル、他, and アドミン機能. The main content area has a header with a hamburger menu and a user profile icon. Below the header is a large box with the text: 'ここに動画/画像/PDF/3Dモデル(.fbx)のファイルをドロップ、またはクリックで選択'. A '一覧を更新' button is located below this box. There are four tabs: '動画' (selected), '画像', 'PDF', and '3Dモデル'. Below the tabs, it says '動画数: 65'. A table lists video assets with the following columns: 素材名, ステップ数, 長さ, 最終編集日, and アップロード日時. The first row is highlighted with a pink box and contains the following data:

素材名	ステップ数	長さ	最終編集日	アップロード日時
製造向け_機器操作動画 (デモ用)	0	00:01:43	2025年03月02日06時44分	2024年02月20日13時45分

# 手順毎に動画をわける (AI処理)

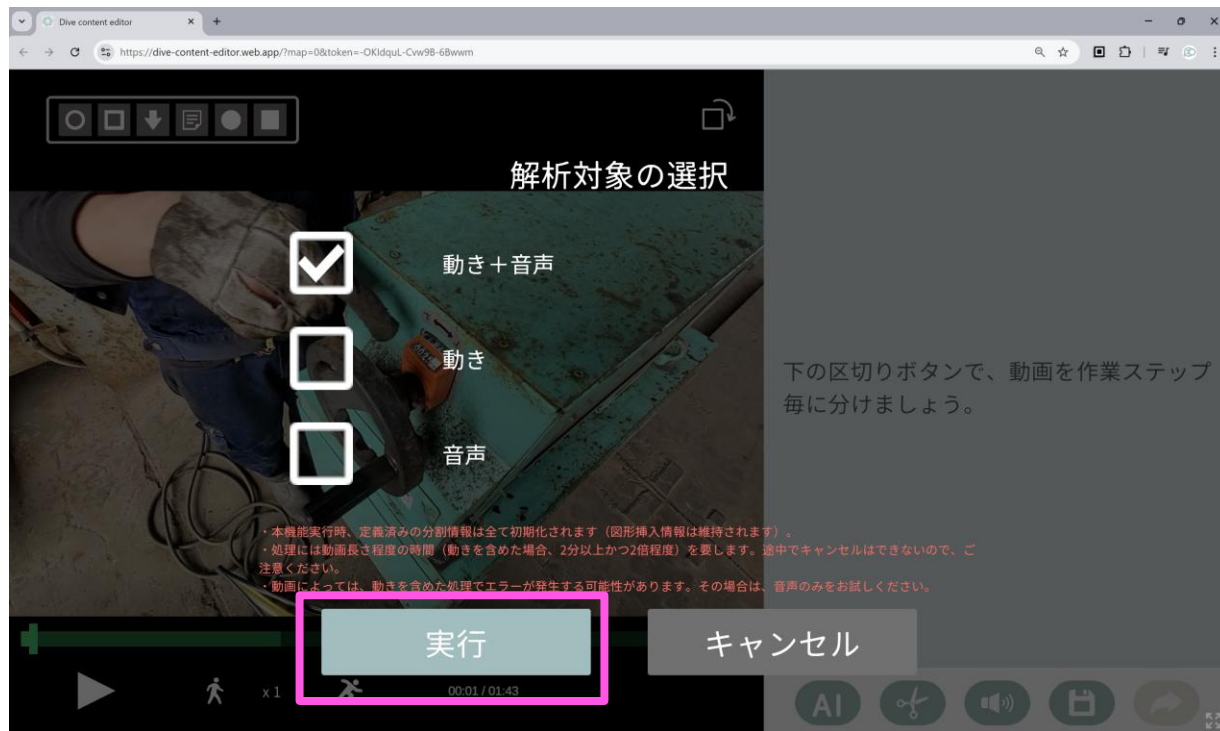


The screenshot shows a web browser window with the URL <https://dive-content-editor.web.app/?map=0&token=-OKldqL-Cvw9B-6Bwvm>. The interface features a video player on the left displaying a person working on a green machine. Above the video is a toolbar with icons for play, stop, download, list, and a square. Below the video is a progress bar and playback controls including a play button, a person icon, 'x1' zoom, and a skip forward icon. The video duration is shown as 00:01 / 01:43. To the right of the video player is a light blue panel with the text: 下の区切りボタンで、動画を作業ステップ毎に分けましょう。 At the bottom of the interface is a control bar with several icons: 'AI' (highlighted with a pink box), a scissors icon, a speaker icon, a save icon, and a share icon.

下の区切りボタンで、動画を作業ステップ毎に分けましょう。

# 手順毎に動画をわけると (AI処理)

所望の解析対象を選択肢、実行をクリックする



**処理終了までブラウザはとじないでください**

\* 最小化しておくのは問題ないです。

## ■ 想定処理時間

- ・ 動きを含める：対象動画長さの2倍程度
- ・ 音声のみ：対象動画長さの同程度

■ 動きの解析について  
高解像度等が理由で動きによる分析ができない場合があります。その際は、音声のみをお試しください。

# AI処理結果の確認

The screenshot displays a web browser window with two tabs: "Video uploader" and "Dive content editor". The URL is <https://dive-content-editor.web.app/?map=0&token=-OKOZJ8aQsn2UAYKCRer>. The main area shows a video player with a control bar at the top. Below the video, a timeline displays several AI-processed action segments. A pink box highlights the current segment, "物を運ぶ/持つ" (Carrying/Holding objects), which is also highlighted with a green box. To the right, a list of actions is shown, including "腰を曲げる/おじぎをする" (Bending the waist/doing a bow), "35mmくらい。" (About 35mm), "座る" (Sitting), and "いけると思ったら、これで同じ2つの線を動いていきます。" (When you think you can go, move these two lines).

Time	Action
00:46	腰を曲げる/おじぎをする 35mmくらい。
00:51	座る
00:57	いけると思ったら、これで同じ2つの線を動いていきます。
01:06	物を運ぶ/持つ
01:08	

AIが判断した  
作業開始の  
タイミング

現在再生中（選択  
中）の作業単位

区切りに対する  
作業内容  
（文字起こし、  
または行動解析  
した行動名）

# 各手順の定義

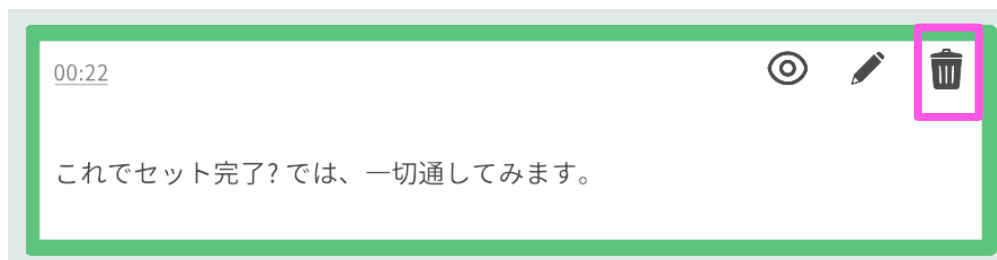
**区切り結果それぞれが動画手順書における各ステップとなります。**  
(出力ボタンをおすことで、結果内容をもとに動画手順書が作成されます)

そのため、下記を実行しましょう。

1. 区切りの調整（編集・削除・追加）をする
2. 区切りを動画手順書の対象外にする
3. 動画へ図形を挿入する

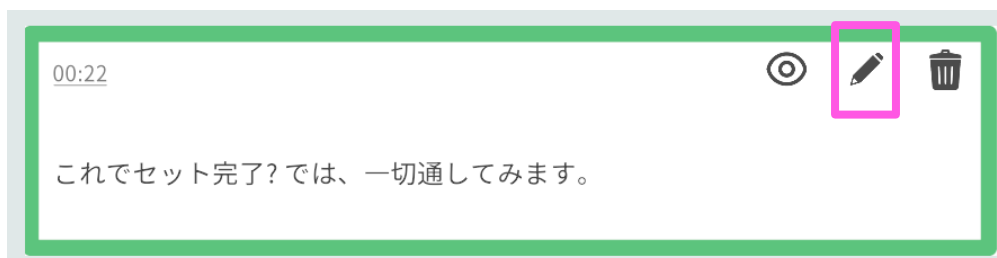
# 1. 区切りの調整（編集・削除・追加）をする

- 区切りを削除する（前後の動画を結合する）  
対象区切りをクリックし、下記ボタンをクリック



## ■ 手順内容を変更する

- 対象区切りをクリックし、下記ボタンをクリック。  
手順名変更画面で編集し、確定。



## ■ 区切りを追加する

- ① 作業開始位置にシークする



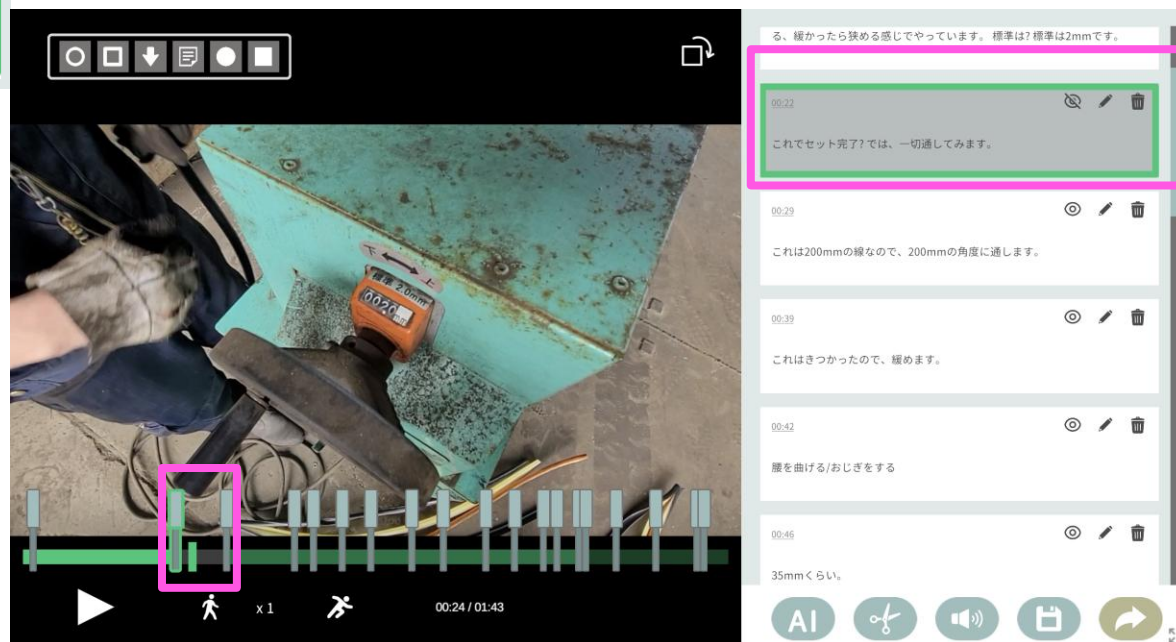
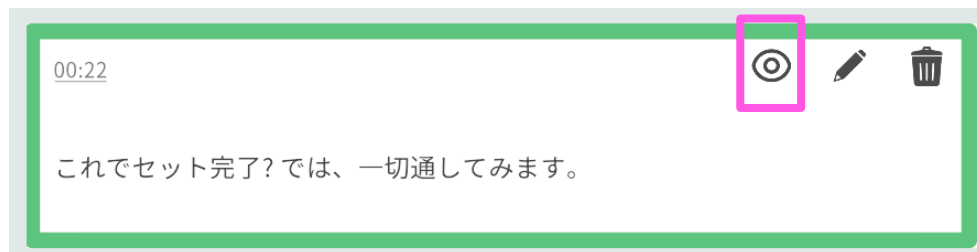
- ② 下記ボタンをクリック。手順名変更画面で入力し、確定。





## 2. 区切りを動画手順書の対象外にする

対象区切りをクリックし、下記ボタンをクリック



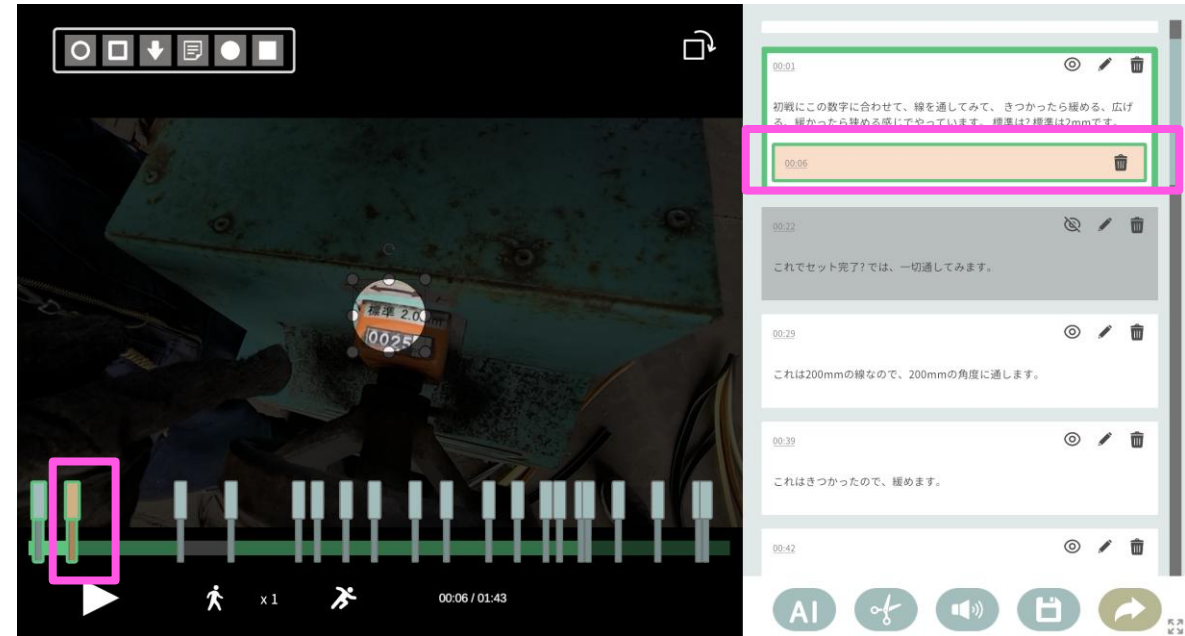
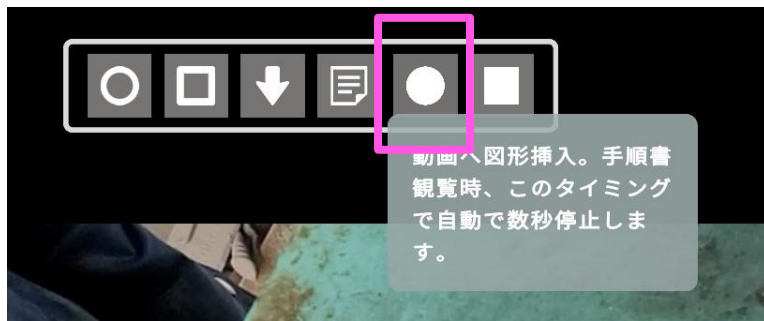
出力対象外の区切りはグレーになる

### 3. 動画へ図形を挿入する（追加）

①図形を挿入したいタイミングへシークする



②挿入したい図形をクリック

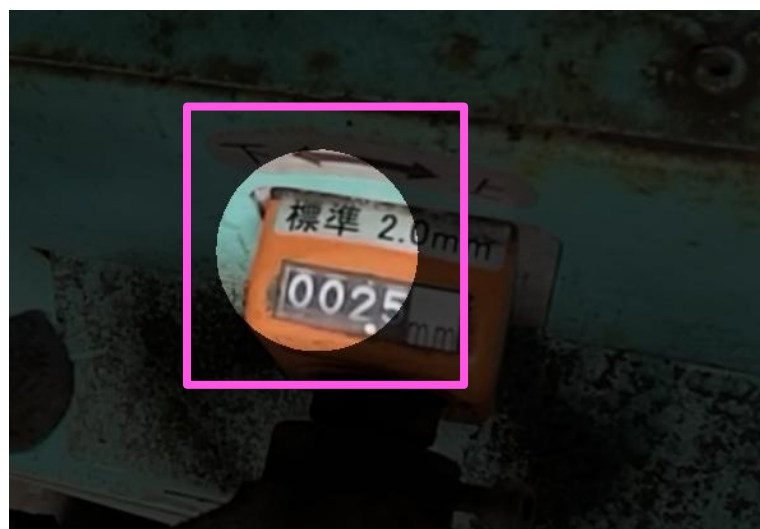


表示タイミングが定義される

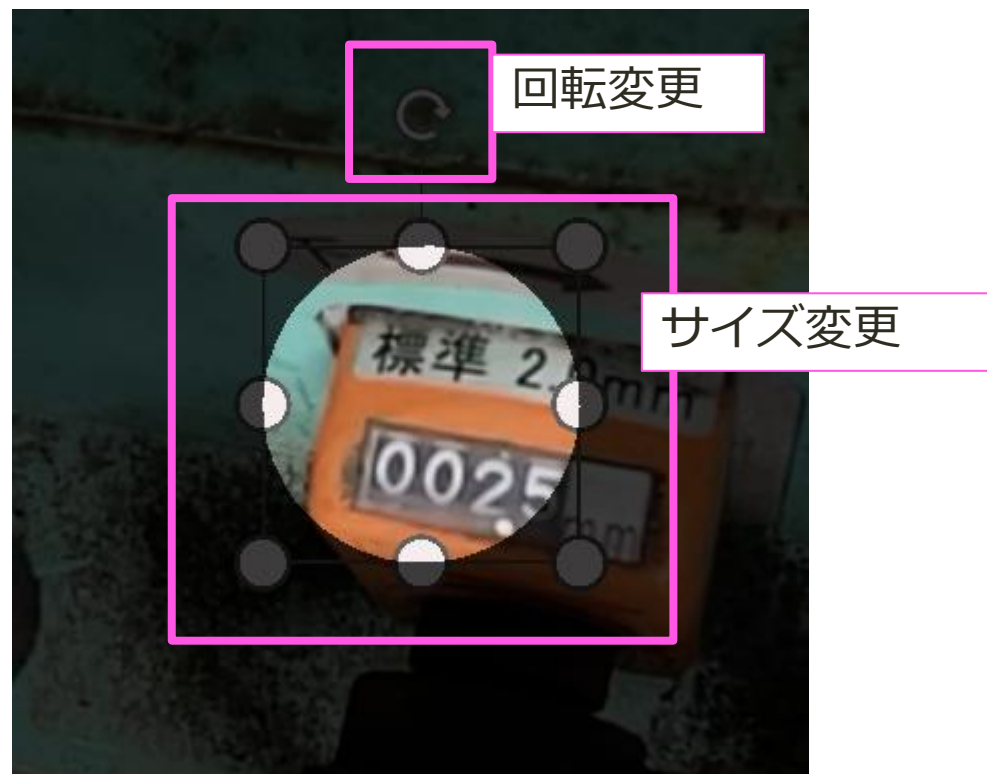
- 動画手順書において、このタイミングで3秒間自動停止します（編集画面で停止し続けます）
- 区切り同様にタイミングの調整や削除ができます。

### 3. 動画へ図形を挿入する（調整）

①図形をクリック

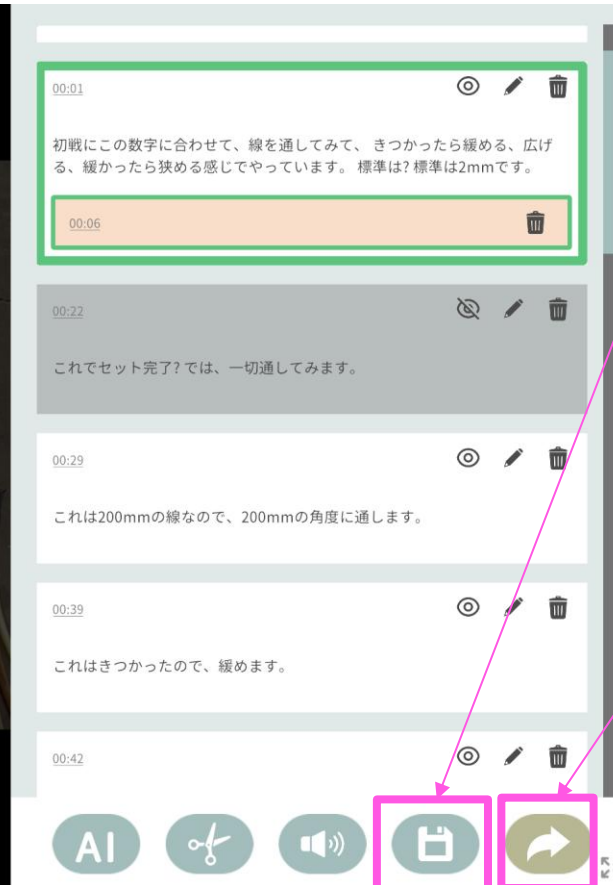
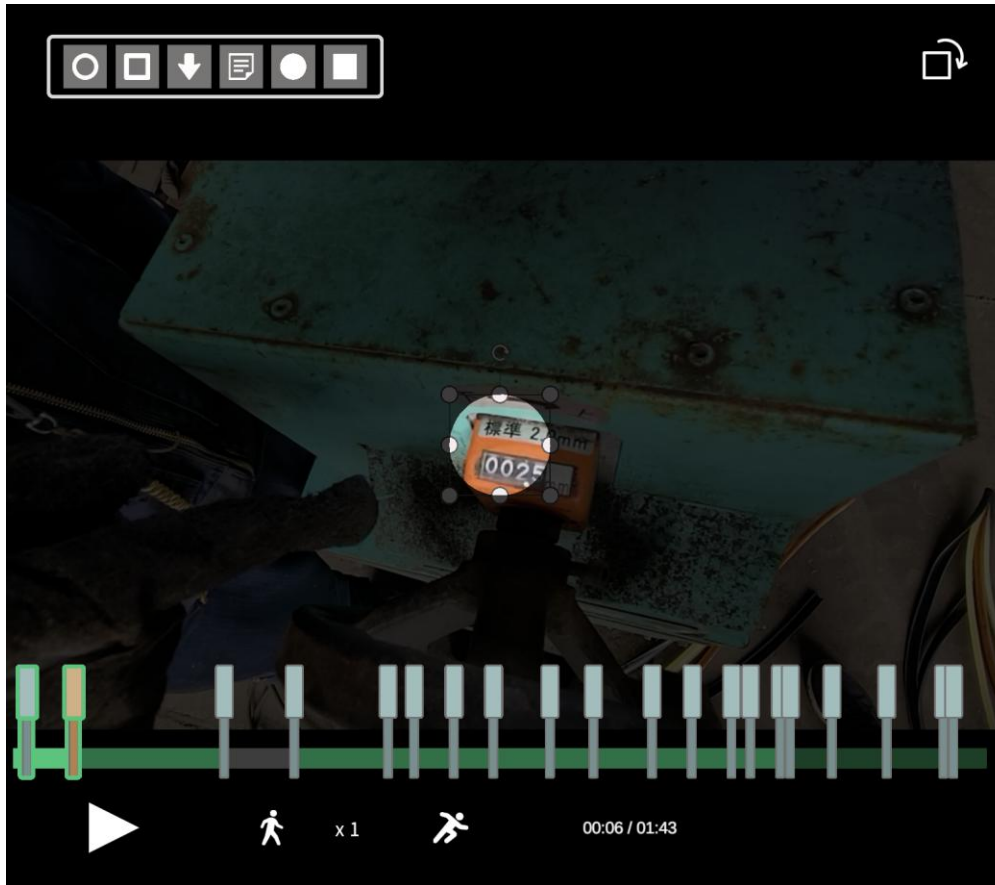


②調整用のアイコンをドラッグ&ドロップして、図形を調整



※図形単体の削除はキーボードのデリートキーで行います。

# 保存・出力




■ 保存  
編集内容を確定します

■ 出力  
保存したあと、編集内容をもとに動画の手順書として「ワークスペース」→「承認/進捗」へ出力します。

<補足>

① 各手順のタイトルは、手順内容が多い場合、生成AIの処理により手順内容をもとに短い文章としてまとめられて出力します。

② 出力時に音声を含めたくない場合、 をクリックしてグレーにします。

## 1. 動画手順書を作成する

- フォルダを作成
- 動画編集
- 詳細編集
- 発行・共有

## 2. AR手順書を作成する

## 3. ユーザー権限・参照権限

## 4. アクセス制限・承認フローを設定する

## 5. グラス版アプリ

# 手順書の詳細編集

The screenshot shows the DIVE system interface. On the left is a dark sidebar with a menu. The '承認/進捗' (Approval/Progress) item is highlighted with a pink box. An arrow points from this menu item to a table of procedures. The table has columns for checkboxes, titles, edit content, status, and registration date. The first row is highlighted with a pink box and contains the text 'From Video - 202503111130359710'. A callout box with a pink border points to this row with the text '当該の手順書をクリック' (Click the procedure).

<input type="checkbox"/>	手順書タイトル	改訂内容	ステータス	登録日
<input type="checkbox"/>	From Video - 202503111130359710		下書き	2025年03月11日11時30分
<input type="checkbox"/>	20250311110163			2025年03月11日10時16分
<input type="checkbox"/>	内藤家+動画手順書-copy		下書き	2025年03月11日10時12分
<input type="checkbox"/>	テスト		承認フロー中	2025年03月10日17時44分
<input type="checkbox"/>	yutaへの承認依頼手順書	よろしく	承認フロー中	2025年03月10日17時07分
<input type="checkbox"/>	しんきすまほから		下書き	2025年03月10日17時06分

- 新規で作成したり、改訂したりなどした発行前の手順書は全て「承認/進捗」内で一覧で表示されます。
- この内容は、作成者以外はだれも見ることができません。

# 詳細編集でできること

下記を行うことで、手順書としてのブラッシュアップを行う事ができます。

1. **各手順の説明欄の拡充**
2. **各手順のタスクの定義**
3. **格納フォルダの定義**
4. 手順の追加・削除
5. 新たなステップとして動画を追加
6. 新たなステップとして画像/PDFを追加
7. 参照可能ユーザーの変更

## ■補足

今回は動画をもとに手順書を作成しましたが、空の状態から作成していくこともできます。その場合は、当該のフォルダで「手順書作成」をクリックします。

# 1. 各手順の説明欄の拡充

①当該の手順をクリック

The screenshot shows a task editor interface. On the left, there is a list of four steps: Step 1 (blank), Step 2 (初戦で2mmに調整), Step 3 (セット完了、通して確認), and Step 4 (200mmの角度に通す). Step 1 is highlighted with a pink box. To the right, a detailed view of Step 1 is shown, with a pink box around the '作業内容' (Task Content) section. This section contains four input fields: '詳細説明' (Detailed Description), '作業コツ' (Work Tips), '注意事項' (Precautions), and '安全上の重要事項' (Important Safety Items). Each field has a placeholder text '〜はここ' (〜 is here). A blue 'Update' button is located at the bottom right of the detailed view.

②クリック

③説明欄の拡充する

④クリックし、保存

The screenshot shows a video player interface. The video shows a person working on a machine. On the right side of the video, there is a pink box containing a list of items with icons: '作業コツ' (Work Tips) with an information icon, '注意事項' (Precautions) with a warning icon, and '安全上の重要事項' (Important Safety Items) with a hand icon. The video player has a progress bar at the bottom and a play button on the left.

記入した各項目は、上記のように表現される



## 2. 各手順のタスクの定義

①当該の手順をクリック

Step 1  
blank

+

Step 2  
初戦で2mmに調整

+

Step 3  
セット完了、通して確認

+

Step 4  
200mmの角度に通す

②クリック

タスク

種類  
はい/いいえ

③タスク種類の選択

内容  
XXXしましたか?

④設問内容を記入

Update

⑤クリックし、保存

Dive @ 2025 Created by Episotech Ltd.

1/18 blank

詳細説明

XXXしましたか?

はい

いいえ

確定

タスクがある場合、上記のように表現される

# タスクについて

## ■タスクの動き

- 各手順で、観覧している方に対して設問を設けることができる。
- 設問に回答しなければ、次の手順に移行できない。
- 今回は動画をもとに手順書を作成。
- 回答した結果は「作業結果」から確認できる。

## ■想定用途

- チェックシートとして使う。
- 入力者がだれかを特定する（1つのアカウントを複数人で使う運用時）。
- 作業結果記録（測定値の入力、など）
- ポカヨケ

作業結果		2024年12月02日		2025年03月03日		
一覧						
手順書名	バージョン	作業者	作業者の権限	開始日時	終了日時	終了時コメント
202503031232389870	0	yuta.naito@episotech.com	作成ユーザー	2025年03月03日12時48分	2025年03月03日12時48分	
番号	タイトル	タスク	結果	記述	入力日時	
1	blank	XXXしましたか？	はい		2025年03月03日12時48分	

### 3. 格納フォルダの定義

手順書を開く PDF出力 改訂履歴

タイトル  
From Video - 202503111130359710

概要説明

格納フォルダ  
フォルダ変更

① クリック

閲覧可能ユーザー  
フォルダアクセス可能ユーザー

> 現場3Dモデル

格納先を選択

← 上の階層に移動

現在のフォルダ: 動画手順書デモ

タイトル	説明	作成者	最終編集日	アクセス制限
No Data				

ここへ決定

※フォルダが何もない場合、まずは「管理者」権限以上のアカウントを持つ方に作ってもらいましょう

## 1. 動画手順書を作成する

- フォルダを作成
- 動画編集
- 詳細編集
- 発行・共有

## 2. AR手順書を作成する

## 3. ユーザー権限・参照権限

## 4. アクセス制限・承認フローを設定する

## 5. グラス版アプリ

# 発行

「発行確認」ウィンドウでOKをクリックすることで、指定した格納フォルダ登録に手順書が格納されます。

The screenshot shows the DIVE system interface. On the left is a dark sidebar with navigation items: 手順書, ワークスペース, 承認/進捗, 素材, 支援要請の状況, 作業結果, ユーザー管理, チュートリアル、他, アドミン機能. The main content area has a header with a menu icon and a user profile icon. Below the header are buttons for '承認依頼' (highlighted with a pink box) and '作成取消'. The main content area is divided into a left pane with a video thumbnail and a right pane with form fields: タイトル (From Video - 202503111130359710), 概要説明, 格納フォルダ (with a 'フォルダ変更' button), and 閲覧可能ユーザー (with a dropdown menu). A modal window titled '発行確認' is overlaid on the right, containing the text: '当該フォルダには承認フローが設定されていないため、即時発行されます。この操作は取り消せません。よろしいですか？' and a '<改訂内容>' text area. At the bottom of the modal are 'キャンセル' and 'OK' (highlighted with a pink box) buttons.

※フォルダに承認フローが設定されている場合、発行確認ではなく、承認依頼の画面になります。承認フローの最後の承認者が承認すると発行されます。

# 共有（1/2）

手順書を参照してもらう方法は主に下記3通り

- ・フォルダから探してもらう
  - ・URLをメールや他アプリで共有し、アクセスしてもらう
  - ・QRコードを現場においておき、通常のQRコード読み取りアプリからアクセスしてもらう
- 補足
- ・PCからアクセスした場合、Webアプリで観覧します。
  - ・スマホからアクセスした場合、スマホアプリが立ち上がり、そのアプリで観覧します。  
※インストールされていない場合、各OSのストアページに遷移します。インストールしたあと、読み取った手順書が開きます。

# 共有 (2/2)

共有用URLは下記から確認可能。



※スマホアプリからも  
QRコードは共有可能です。

## 1. 動画手順書を作成する

- フォルダを作成
- 動画編集
- 詳細編集
- 発行・共有

## 2. AR手順書を作成する

## 3. ユーザー権限・参照権限

## 4. アクセス制限・承認フローを設定する

## 5. グラス版アプリ



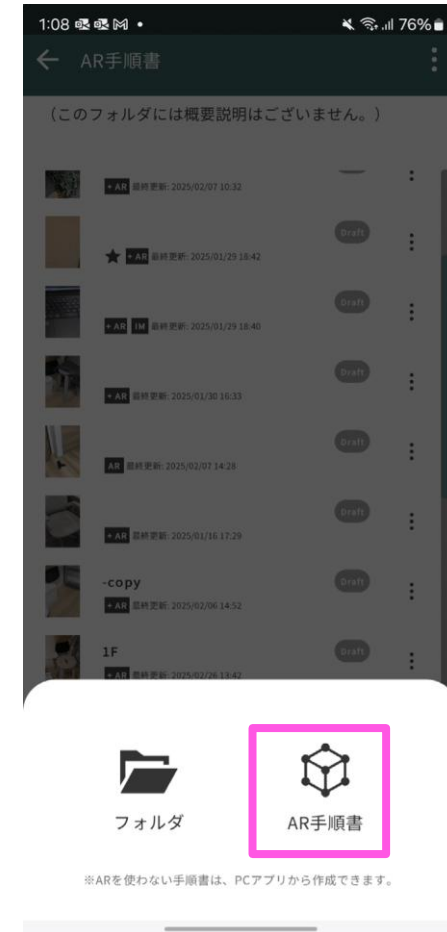
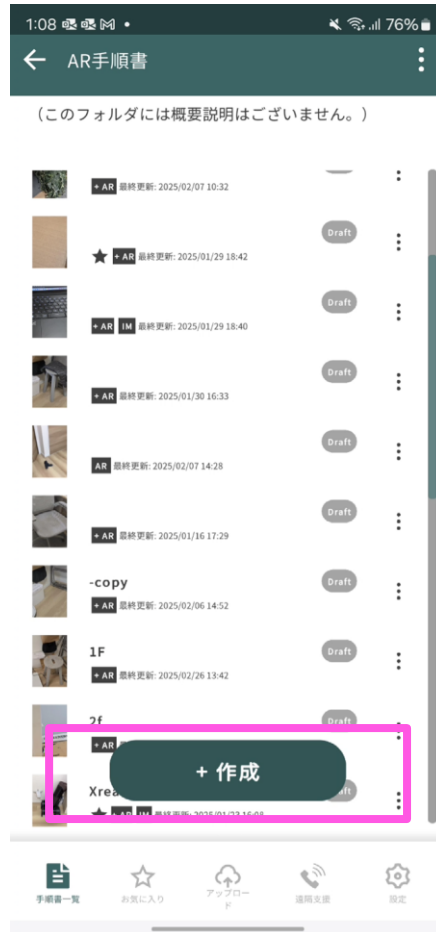
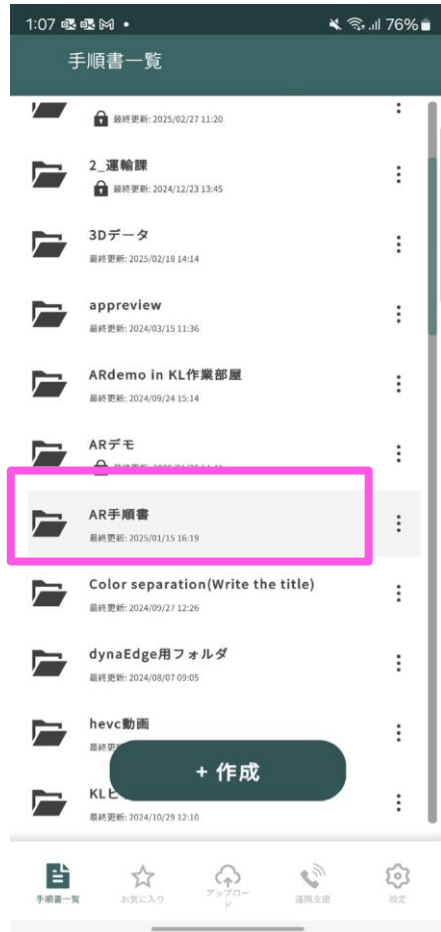
# チュートリアル動画について

AR手順書作成についてはチュートリアル動画がYouTubeにて公開されています。  
こちらにも必要に応じて、ご覧ください。

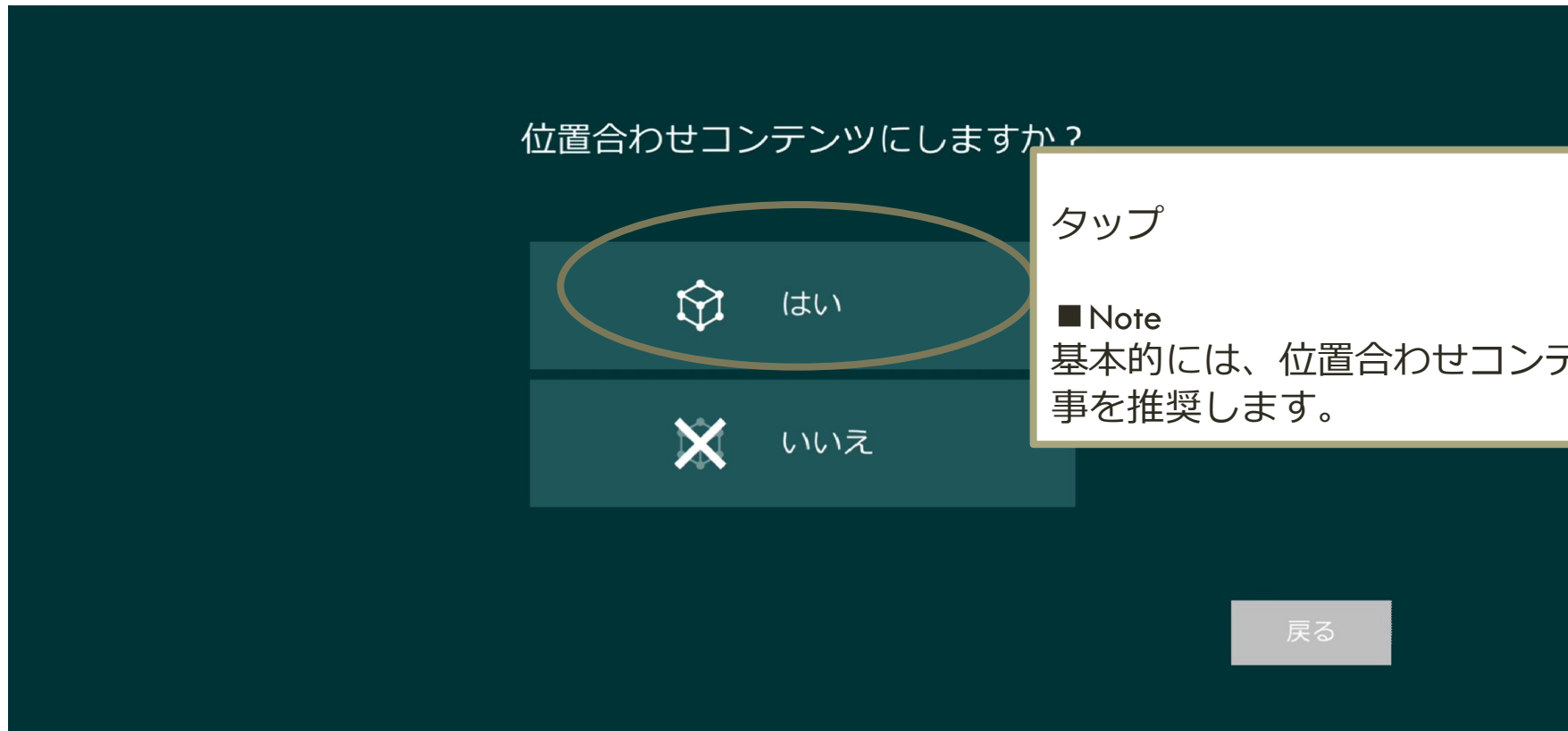


<https://youtu.be/2Z7u9KivFfU?si=Ticqv4c34hjEo7nK>

# 格納するフォルダを選択



# 3Dスキャンをする



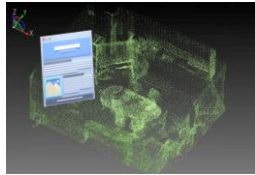
タップ

■ Note

基本的には、位置合わせコンテンツにする事を推奨します。

# 位置合わせ：ありとなし

## あり



アプリに空間の特徴点を認識させ、特徴点と関連情報を位置関係のデータセットをつくっておく



事前認識した特徴点とカメラ取得画像が一致すると、データセットの関連情報が空間位置を基に表示する

### ■ ユースケース：機器・設備情報を現場へマッピング

- ・ 保守現場個別のマニュアル配置
- ・ 展示会、受付での無人対応
- ・ ショッピングセンターイベント

## なし



関連情報とスマホの位置関係のデータセットをつくっておく

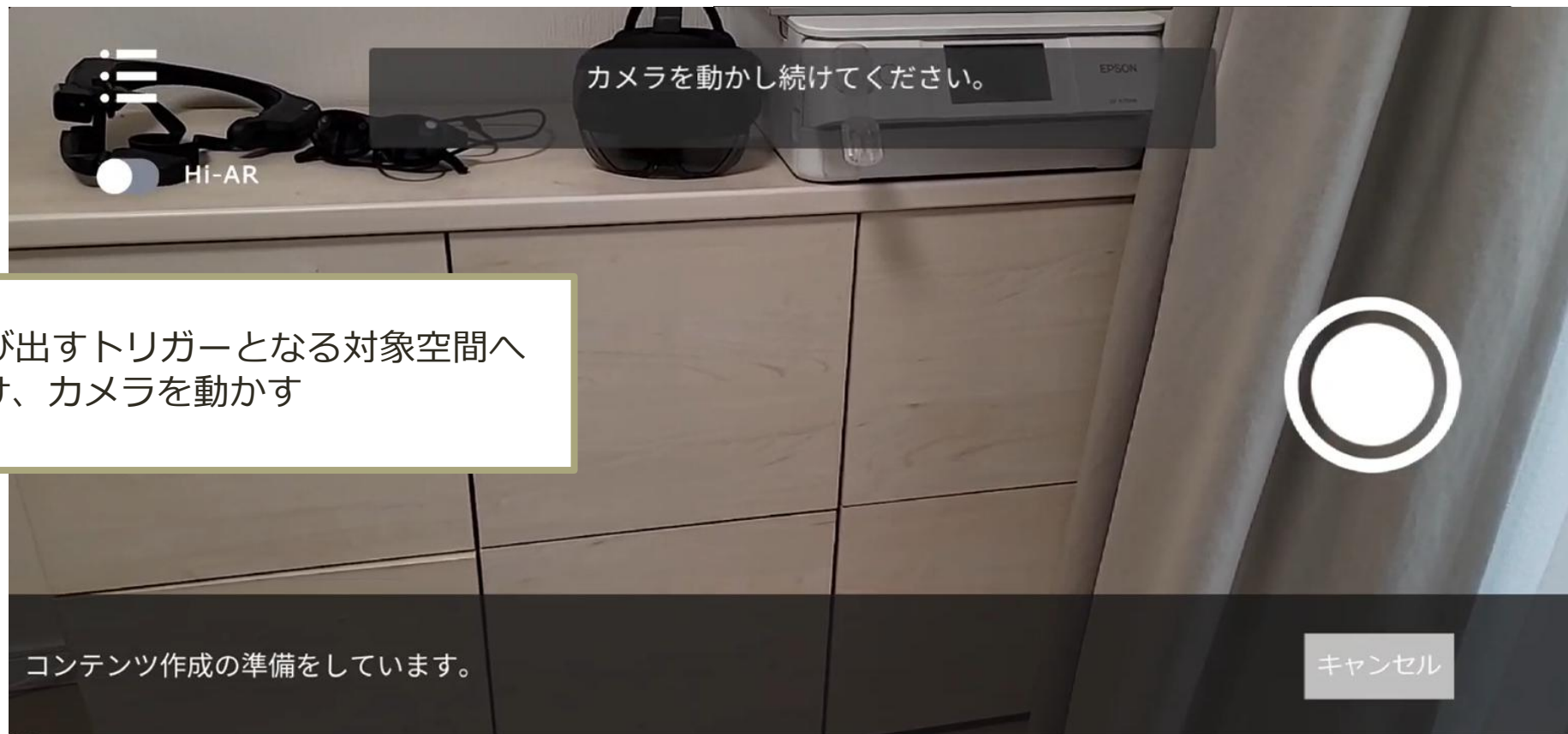


作成しておいたデータセットを参考に、**使用時のスマホを基準**として関連情報が表示する

### ■ ユースケース：複数情報表示のために製品へQRコード添付

- ・ 出荷済製品のトレースやマニュアルの表示
- ・ 小売製品でのキャンペーン

## 3Dスキャンをする

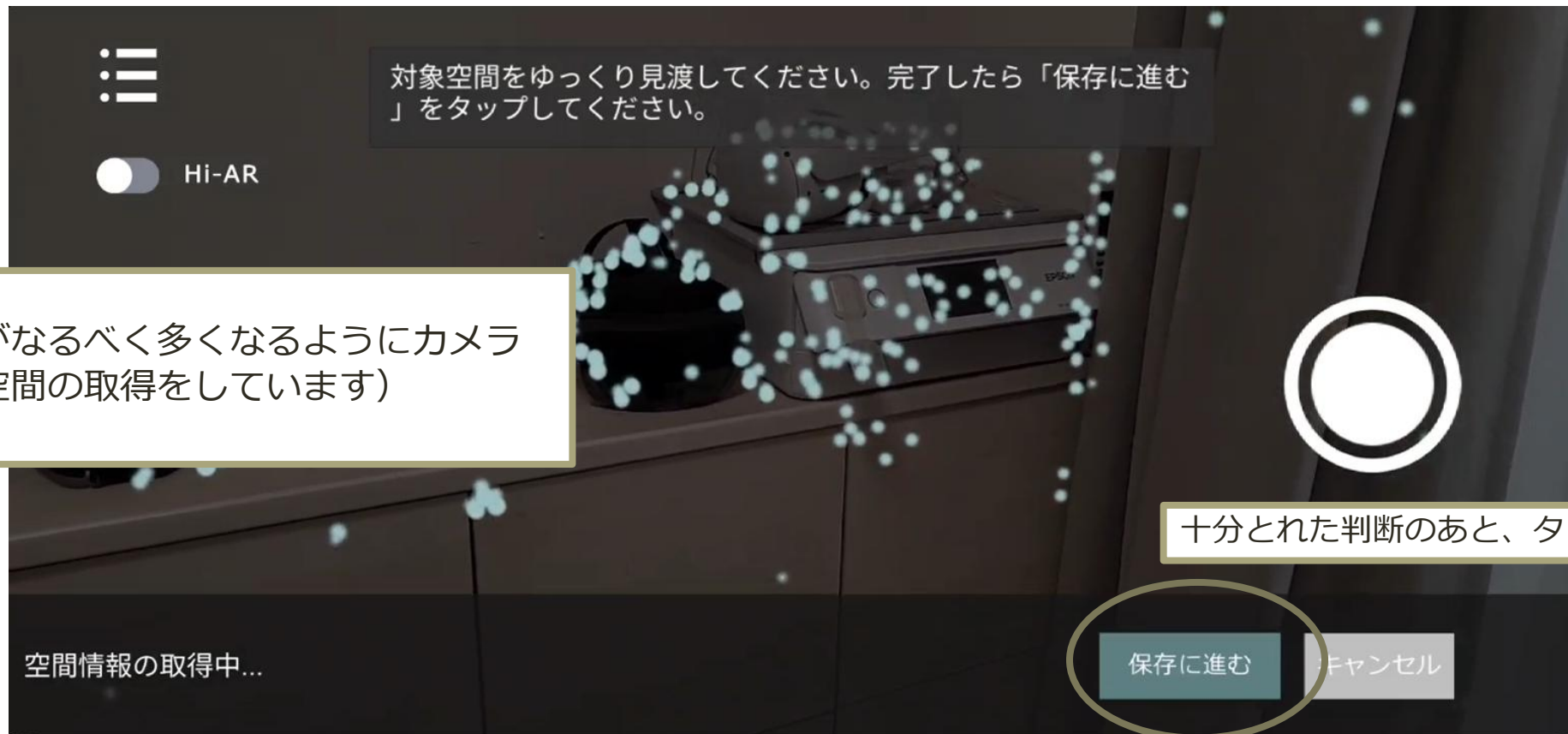


AR情報を呼び出すトリガーとなる対象空間へカメラを向け、カメラを動かす

コンテンツ作成の準備をしています。

キャンセル

# 3Dスキャンをする



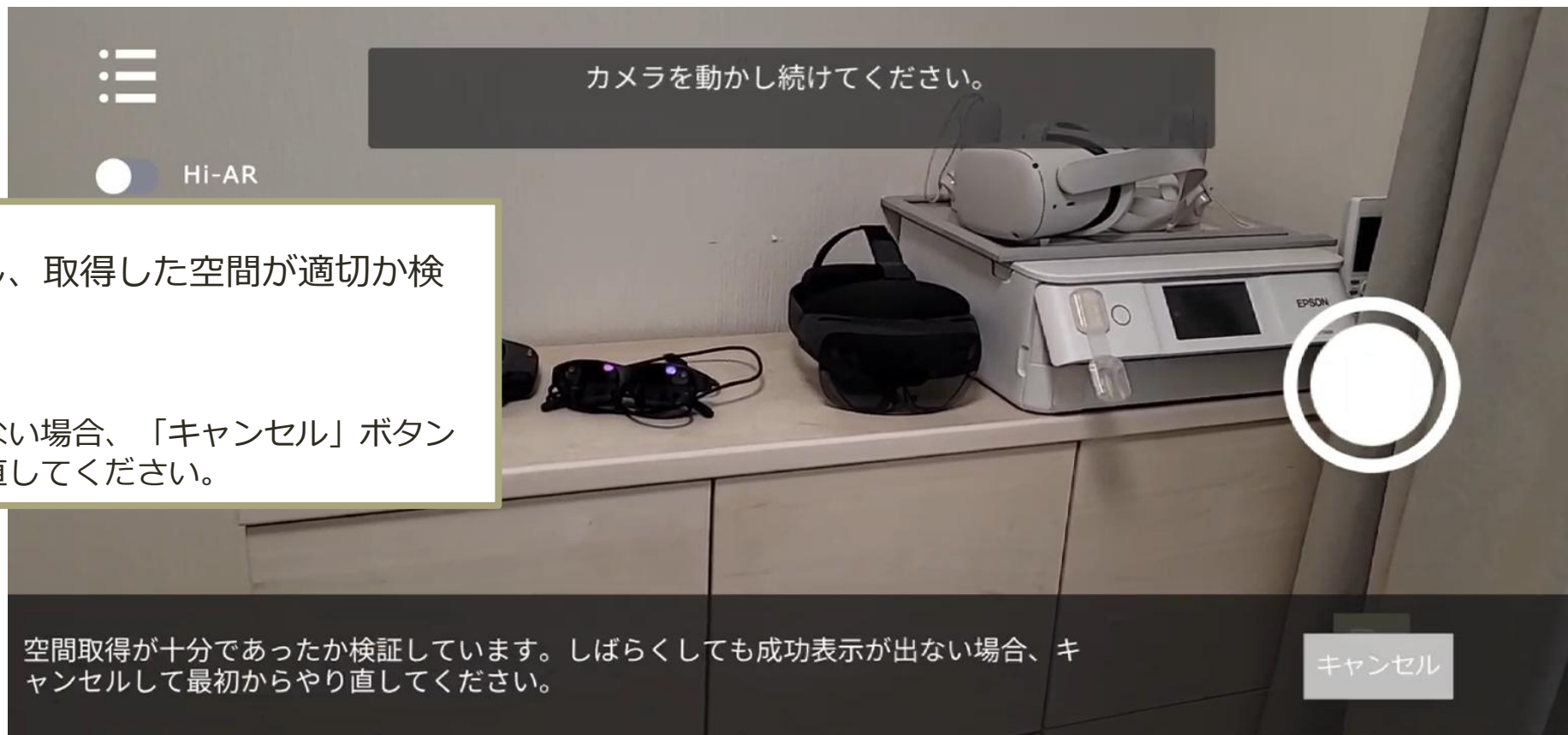
青い点の数になるべく多くなるようにカメラを動かす（空間の取得をしています）

十分とれた判断のあと、タップ

保存に進む

キャンセル

# 3Dスキャンをする

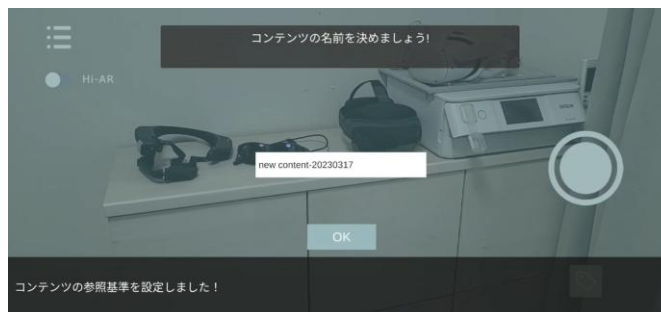


カメラを動かし、取得した空間が適切か検証します。

■ Note

成功表示がされない場合、「キャンセル」ボタンを押して、やり直してください。

# 3Dスキャンをする



表示指示に従って、手順書名・参照用写真と設定

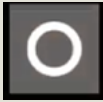


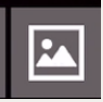
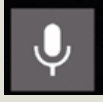






# コンテンツを作成する



# 置けるARオブジェクト

アイコン	ARオブジェクト	補足
	マル	-
	矢印	-
	テキスト	-
	画像/動画/3Dモデル	ローカルまたはクラウドから選択できます
	録音音声	<ul style="list-style-type: none"><li>• タップしている間、録音されます。</li><li>• 観覧時、近づくと自動で再生します。</li></ul>
	ナビゲーション	<ul style="list-style-type: none"><li>• アイコンをタップする度に、現在地点に角を設定します。</li><li>• チェックボタンで確定します。</li></ul>
	ブラウザ	

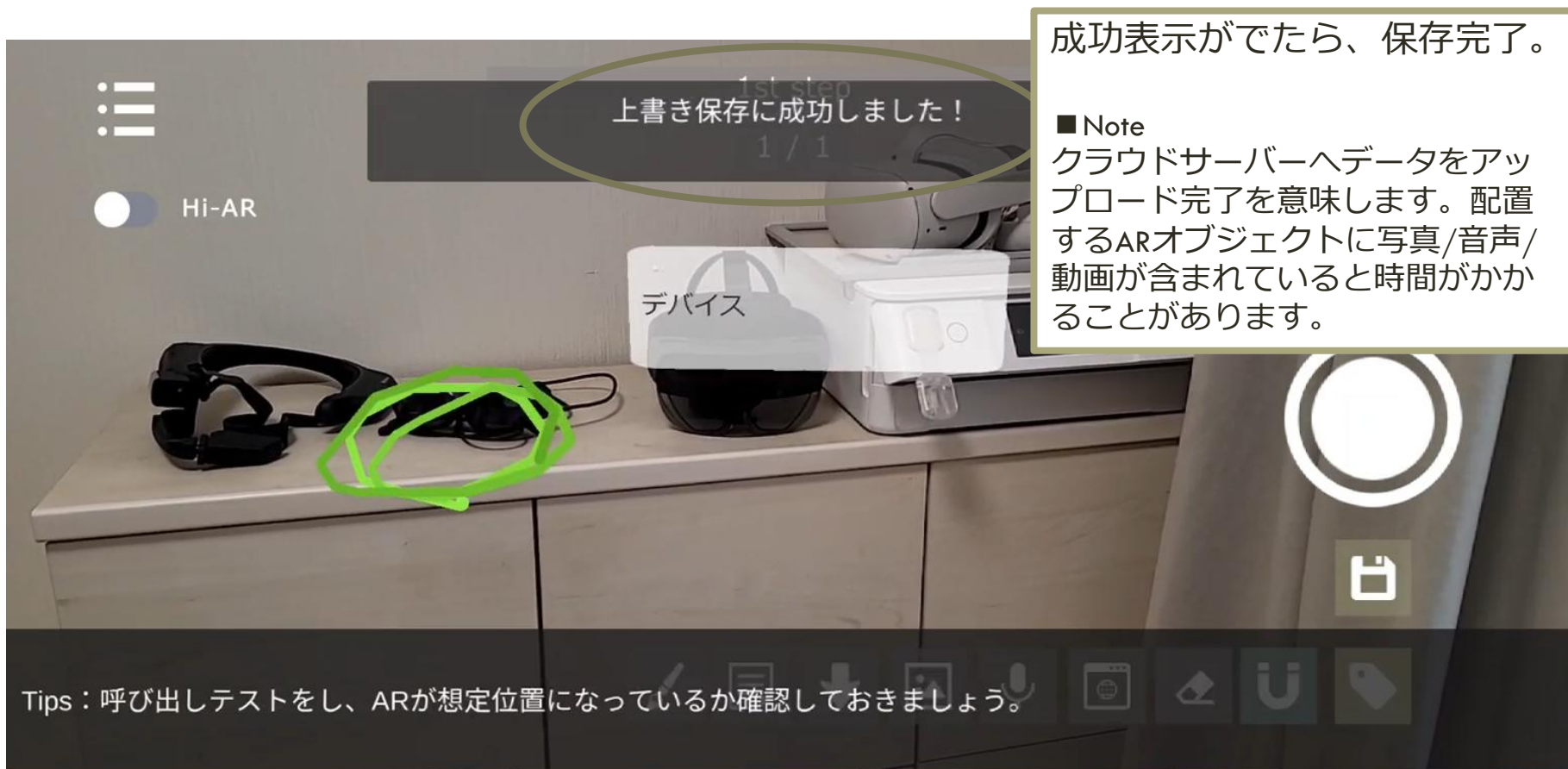
# コマンド類

アイコン	ARオブジェクト	補足
	削除	-
	全選択	-

# コンテンツを保存する



# コンテンツを保存する



成功表示がでたら、保存完了。

■ Note

クラウドサーバーへデータをアップロード完了を意味します。配置するARオブジェクトに写真/音声/動画が含まれていると時間がかかることがあります。

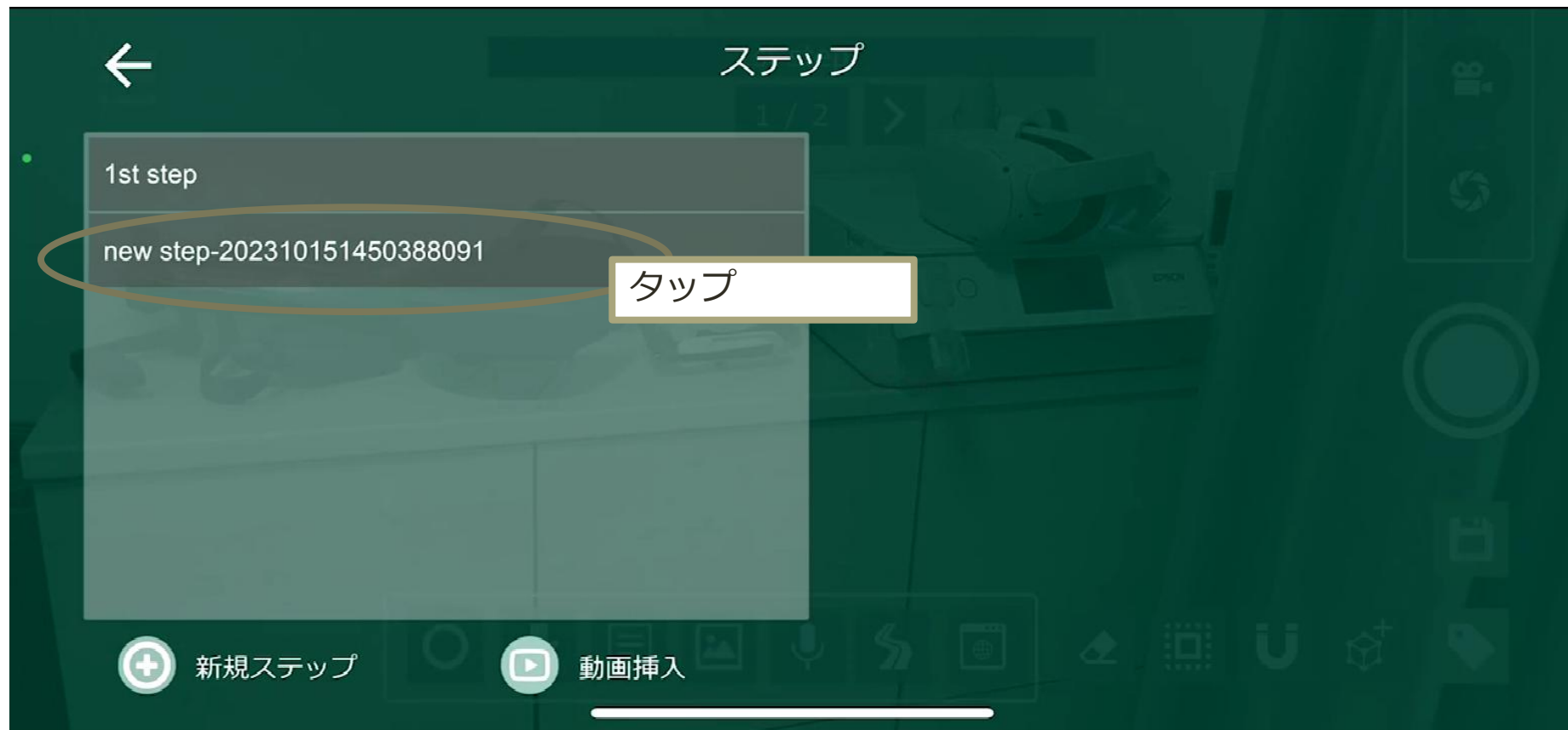
# 手順を定義する



# 手順を定義する



# 手順を定義する





# 手順を定義する



## Tips: ARオブジェクトがずれて配置されてしまう

- 下記例のように3次元を考慮して配置しないと、上手く配置する事ができない。
- 正面、横から見るなどして、移動調整をする。
- 画面上で移動させるのではなく、自らが動いて「置く」感覚でオブジェクトを配置する。

例

スマホに対して矢印を置きたい



この角度だと上手く置けているように見えるが、



別の角度からだと上手く置けていない事がわかる。  
奥行を考慮した配置が出来ていない事が原因。

## Tips: モノに対して位置合わせしたい

基本的には位置合わせコンテンツは、空間に対してのみですが、下記条件を満たす事で**モノに対しても位置合わせ**とできる可能性があります。

### 条件

- 対象の**周囲を回れる**。
  - 対象から0.5m離れたところから、対象物をアプリからみたときに、**背景が映らない**（対象物の目安サイズ：高さ1m以上、縦横それぞれ2m以上）
- \* 上記から、**車程度のサイズのモノ**であれば条件を満たす。

### 作成方法

空間取得時に、背景がカメラに映らないように対象へカメラを向けたまま、対象周辺を回る



## 1. 動画手順書を作成する

- フォルダを作成
- 動画編集
- 詳細編集
- 発行・共有

## 2. AR手順書を作成する

## 3. ユーザー権限・参照権限

## 4. アクセス制限・承認フローを設定する

## 5. グラス版アプリ

# ユーザー権限

4つのユーザー権限があり、データ変更に係る操作は権限によって変わります。

権限	オーナー	管理者	作成ユーザー	観覧ユーザー
契約関連	○	×	×	×
ユーザー追加・権限編集、 グループ作成	○	○	×	×
フォルダ作成・編集	○	○	×	×
手順書作成	○	○	○	×

# ユーザーの追加

The screenshot shows the DIVE user management interface. On the left is a dark sidebar with a menu including 'ユーザー管理' (User Management), which is highlighted with a pink box. The main content area shows a 'ユーザー' (User) tab with a 'ユーザーを追加' (Add User) button, also highlighted with a pink box. Below this is a table with columns for 'メールアドレス' (Email Address), '名前' (Name), '権限' (Permissions), and '最終使用' (Last Used). An 'Add User' dialog box is overlaid on the table, containing an 'E-mail' input field with a pink box around it and a text box above it that says '追加するアカウントのメールアドレスを記入' (Enter the email address of the account to be added). Below the input field is a '与える権限' (Assign Permissions) section with a dropdown menu set to '作成ユーザー' (Create User) and a pink box around it that says '権限を設定' (Set Permissions). At the bottom of the dialog are 'キャンセル' (Cancel) and '招待メール送信' (Send Invitation Email) buttons, with the latter highlighted in pink.

招待メールのリンクから、当該ユーザーが登録すると正式に追加されます。

# ユーザーの権限変更

The screenshot shows the 'DIVE' user management interface. On the left is a dark sidebar with navigation items: 手順書, ワークスペース, 支援要請の状況, 作業結果, ユーザー管理 (highlighted), チュートリアル、他, and アドミン機能. The main content area shows 'ユーザー' (Users) and 'グループ' (Groups) tabs. Below the tabs, it says 'ユーザー数: 4 / 上限数: 1005' and has a 'ユーザーを追加' (Add User) button. A table lists the users with columns for 'メールアドレス' (Email Address), '名前' (Name), '権限' (Permissions), and a '削除' (Delete) button. The '権限' column has a dropdown menu open, showing '管理者' (Administrator) selected. The table data is as follows:

メールアドレス	名前	権限		
episotech@gmail.com	No name	管理者	2025年03月11日13時03分	削除
ny4645oneguy@outlook.com	No name	管理者	2025年03月07日09時08分	削除
toshiki.iwata@episotech.com	No name	オーナー	2025年03月01日17時10分	削除
yuta.naito@episotech.com	No name	オーナー	2025年03月11日11時51分	削除

変更したタイミングで、自動で確定がされます。

# 参照権限

## ■ フォルダのアクセス制限について

- 「あり」と設定されているフォルダは、「アクセス可能なグループ」に登録しているグループのアカウントがアクセスできます。「なし」の場合、チーム内のアカウント全てがアクセスできます。
- ただし、オーナー権限ユーザーは、上記に限らず全てのフォルダへアクセスできます。

## ■ 手順書の観覧可能ユーザー設定

設定	説明
フォルダアクセス可能ユーザー	基本的な参照設定です。
作成者のみ	作成者・改訂実施者のみが観覧できます。その他のアカウントは、オーナー権限アカウント含め、観覧できません。
ゲスト含むすべてのユーザー	「フォルダアクセス可能ユーザー」の設定に加え、共有されたURLやQRコードを介して、他チームユーザーも観覧可能です。

## ■ 画像や動画の素材について

アップロードしたユーザーのみ観覧可能です。オーナー権限アカウントユーザーも確認できません。



## 1. 動画手順書を作成する

- フォルダを作成
- 動画編集
- 詳細編集
- 発行・共有

## 2. AR手順書を作成する

## 3. ユーザー権限・参照権限

## 4. アクセス制限・承認フローを設定する

## 5. グラス版アプリ

# グループを作成

※あらかじめ、「ユーザーを追加」でDiveを利用するアカウントを登録しておきましょう。

# グループを作成

DIVE

ああ	0	詳細
顧客B	1	詳細
naito以外	2	詳細
A工場	0	詳細
製品加工部	4	詳細
運輸課	3	詳細
yuta.naito only	1	詳細
テスト	3	詳細
f f f	0	詳細
テストグループ	0	詳細

当該グループの「詳細」をクリック

テストグループ

名前を変える    **ユーザーを追加する**    グループを削除

ユーザーのメールアドレス	ユーザーの名前	ユーザーの権限
No Data		

閉じる

ユーザーを追加する

ユーザーを選択してください

- episotech@gmail.com
- ry4645oneguy@outlook.com
- toshiki.iwata@episotech.com
- yuta.naito@episotech.com

対象のアカウントを選択したあと、「OK」ボタンをクリック

※あらかじめ、「ユーザーを追加」でDiveを利用するアカウントを登録しておきましょう。

# アクセス制限設定

当該のフォルダを開き、「アクセス制限」を「あり」に変更したあと、「アクセス可能なグループ」に、対象のグループを選択して「更新」します。

The screenshot displays the DIVE system interface. On the left is a dark sidebar with the 'DIVE' logo and a menu containing '手順書', 'ワークスペース', '支援要請の状況', '作業結果', 'ユーザー管理', 'チュートリアル、他', and 'アドミン機能'. The main content area shows the settings for a folder titled '製造ラインA'. The 'アクセス制限' (Access Restriction) field is currently set to 'なし' (None) and is highlighted with a pink box. A large grey arrow points from this field to a modal dialog box. The modal dialog, titled 'アクセス制限', shows the 'アクセス制限' field set to 'あり' (Yes). The 'アクセス可能なグループ' (Accessible Groups) field contains 'テストグループ ×' (Test Group), which is also highlighted with a pink box. The '承認フロー' (Approval Flow) field is set to 'なし' (None). At the bottom of the modal, there are three buttons: '更新' (Update), '移動' (Move), and '削除' (Delete). The '更新' button is highlighted with a pink box.

# 承認フロー設定

当該のフォルダを開き、「承認フロー」を「あり」に変更したあと、「設定」から承認フロー内容を設定します。

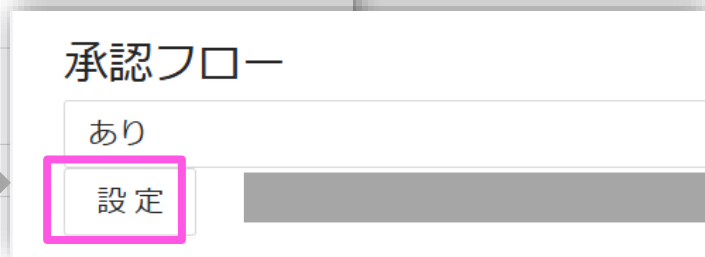


アクセス制限  
あり

アクセス可能なグループ  
テストグループ ×

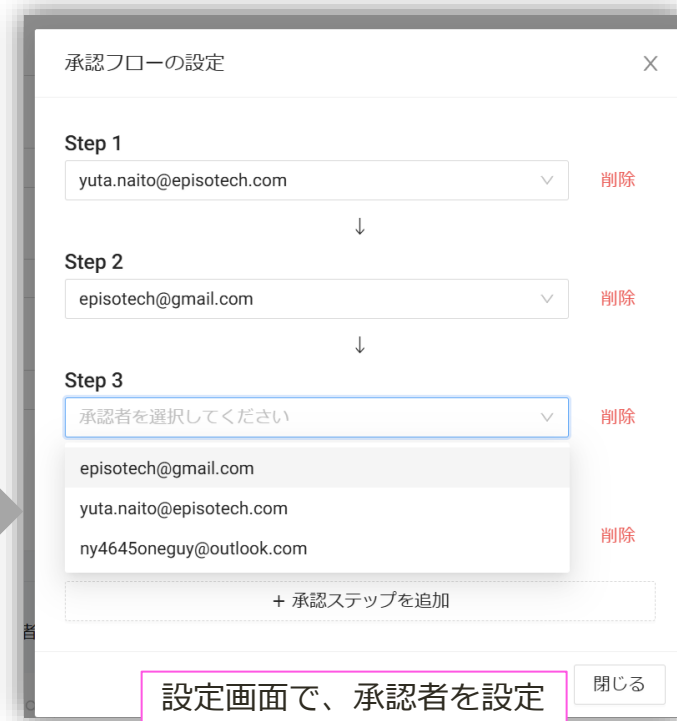
承認フロー  
なし

更新 移動 削除



承認フロー  
あり

設定



承認フローの設定

Step 1  
yuta.naito@episotech.com 削除

↓

Step 2  
episotech@gmail.com 削除

↓

Step 3  
承認者を選択してください 削除

episotech@gmail.com  
yuta.naito@episotech.com  
ny4645oneguy@outlook.com 削除

+ 承認ステップを追加

設定画面で、承認者を設定 閉じる

※承認者は設定したアクセス可能なグループから選択されます。  
アクセス可能なグループが無い場合、全アカウントから選択となります。

## 1. 動画手順書を作成する

- フォルダを作成
- 動画編集
- 詳細編集
- 発行・共有

## 2. AR手順書を作成する

## 3. ユーザー権限・参照権限

## 4. アクセス制限・承認フローを設定する

## 5. グラス版アプリ

## アプリインストール・バージョンアップ方法

- **INMO Air2**は下記手順でインストールしてください。
  1. デバイスを**開発者モード**にする（注：自己責任の上、実行ください）
  2. [ここ](#)から.apkファイルをPCへダウンロード
  3. [Vuzix View](#)をPCへインストール
  4. PCとデバイスをUSBケーブルで接続
  5. Vuzix Viewからデバイスへアクセスし、Vuzix Viewへ1のファイルをドラッグアンドドロップ
- **Vuzix, Realwear**は各ベンダーの専用アプリストアからインストールできます。  
※アプリストアが利用できない場合、INMO Air2と同様の方法でインストールできます。ただし、開発者モードにする必要があるため、自己責任の上で実行ください。
- **Xreal**はGoogle Play Storeよりダウンロードできます。
- **その他のデバイス**の場合、弊社へお問合せください。

## できること



スマホ版・PC（Web）版Diveで作った手順書を  
ハンズフリーで確認できます。

### ■ 使い方流れ

1. QRコードをスマホ版・PC（Web）版Diveから表示します（デモとして次スライドにあるQRコードが使えます）
2. QRコードをグラスから読み取ると、手順書が開きます。
  - \* 1分以内に読み取らないと、アプリが自動で閉じます。
  - \* Xreal Airシリーズの場合、スマホカメラから読み取ります。



# 機能比較

		INMO Air2	RayNeo X2	Vuzix M400/M400	RealWear (Navigator 500等)	Think Reality A3	XrealLight	Xreal Air シリーズ	HoloLens 2
概要	基本操作	<ul style="list-style-type: none"> <li>• グラスのタッチパネル操作</li> <li>• ボイスコマンド</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• グラスのタッチパネル操作</li> <li>• ボイスコマンド</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• グラスのタッチパネル操作</li> <li>• ボイスコマンド</li> </ul>	ボイスコマンド	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 視線入力</li> <li>• ボイスコマンド</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 視線入力</li> <li>• ボイスコマンド</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 視線入力</li> <li>• ボイスコマンド</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 視線入力</li> <li>• ボイスコマンド</li> </ul>
	表示形式	空間表示(0DoF)	空間表示(3DoF)	物理ディスプレイ	物理ディスプレイ	空間表示(6DoF)	空間表示(6DoF)	空間表示(3DoF) Ultraの場合6DoF	空間表示(6DoF)
機能	手順書表示	○	○	○	○	○	○	○	○
	ボイスコマンド	○	○	○	○	○	○	○	○
	動画・画像アップロード	○	○	○	○	×	×	×	×
	遠隔支援	○	×	○	○	×	×	×	×
	ARコンテンツ (手動位置合わせ)	×	×	×	×	○	○	Air2 Ultraのみ○	×
	オフライン動作	○	○	○	○	○	○	○	×

# 操作方法(1/2)

		共通	INMO Air2	RayNeo X2	Vuzix M400/M400	RealWear (Navigator 500等)	Think Reality A3	XrealLight	Xreal Air シリーズ	HoloLens 2
基本 操作	次のステップ	“Next”と言う	前方へスワイプ	前方へスワイプ	前方へスワイプ	“つぎ”と言う	アイコンに視線を合わせる	アイコンに視線を合わせる	アイコンに視線を合わせる	アイコンに視線を合わせる
	前のステップ	“Back”と言う	後方へスワイプ	後方へスワイプ	後方へスワイプ	“まえ”と言う	アイコンに視線を合わせる	アイコンに視線を合わせる	アイコンに視線を合わせる	アイコンに視線を合わせる
	画面移動	“Come on”と言う	タップ	タップ	-	- (ボイスコマンドのみ)	スマホをタップ	スマホをタップ	スマホをタップ	-
	動画の停止、スクロールの停止	“Stop”と言う	-	-	-	-	-	-	-	-
	動画の再生、スクロールの再開	“Go Play”と言う	-	-	-	-	-	-	-	-
	上へスクロール	“Go Up”と言う	-	-	-	“うえ”と言う	-	-	-	-
	下へスクロール	“Go Down”と言う	-	-	-	“した”と言う	-	-	-	-
	動画の停止	“Stop”と言う	-	-	-	-	-	-	-	-
	メニュー開く	“Menu”という	-	-	-	-	-	-	-	-

※QRコード読み取り表示の画面で、“前のステップ”の操作をすると、アプリが終了します。

## 操作方法(2/2)

		共通	INMO Air2	RayNeo X2	Vuzix M400/M400	RealWear (Navigator 500等)	Think Reality A3	XrealLight	Xreal Air シリーズ	HoloLens 2
メニュー・タスク画面での操作	次の選択肢へ移動	“Down”と言う	下方ヘスワイプ	下方ヘスワイプ	下方ヘスワイプ	“うえ”と言う	-	-	-	-
	前の選択肢へ移動	“Up”と言う	上方ヘスワイプ	上方ヘスワイプ	上方ヘスワイプ	“した”と言う	-	-	-	-
	選択	“Select”と言う	タップ	タップ	-	“せんたく”と言う	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

**多様な人材が活躍する基盤をつくる**



<https://www.episotech.com/>